

平成30年11月 東京地区百貨店売上高概況

平成30年12月21日

I. 概況

1. 売上高総額	1,498億円余
2. 前年同月比	0.2% (4か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.1%(90.5%) : 非店頭1.2%(9.5%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成30年10月対比±0店)
5. 総店舗面積	839,231㎡ (前年同月比: -0.7%)
6. 総従業員数	17,884人 (前年同月比: -1.9%)
7. 3か月移動平均値	4-6月 3.4%、5-7月 1.0%、6-8月 1.1%、 7-9月 -1.2%、8-10月 1.5%、9-11月 1.0%

[参考] 平成29年11月の売上高増減率は3.8%

【特徴】

- (1) 11月は、高気温により冬物商材や防寒アイテムが伸び悩み苦戦したが、各社実施の集客策が奏功したことに加え、改装・増床効果も見られ、入店客数は13か月連続プラスの0.7%増となった。
- (2) 売上高も0.2%増と4か月連続でプラスした。主要5品目のうち、対前年増となった身のまわり品、雑貨、食料品の3品目が、天候による影響が大きかった主力の衣料品のマイナス分を補う形となった。
- (3) 身のまわり品は、ラグジュアリーブランドのバッグやカジュアルシューズが好調で高伸した。雑貨は、ベースメイクやクリスマスコフレ、イベント企画が国内外顧客に好評だった化粧品や、宝飾など高額品に加え、その他雑貨もプラスした。
- (4) 食料品は、パーティ需要から和洋菓子ともに動き、菓子が3か月連続増。ワインも好調で、その他食料品は4か月連続プラス。歳暮ギフトはネット受注が高伸しており堅調に推移している。一方、衣料品はワンピース、ニット、スカート、ブラウス、カットソー、パンツなどの秋物が動いたものの、コートやジャケットなど重衣料や、ストール、マフラー、帽子、手袋、靴下などの防寒品の動きは鈍かった。
- (5) 12月中間段階の商況は、2.2%減(12/17)で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した: 5店、②変化なし: 8店、③減少した: 6店
- (3) 11月歳時記(歳暮、七五三)の売上 (同上/有効回答数12店舗)
①増加した: 1店、②変化なし: 5店、③減少した: 6店

東京地区百貨店 売上高速報 2018年11月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	149,848,907	100.0	0.2
紳士服・洋品	12,706,303	8.5	-4.7
婦人服・洋品	25,143,863	16.8	-3.3
子供服・洋品	2,248,979	1.5	-4.4
その他衣料品	2,577,566	1.7	1.6
衣 料 品	42,676,711	28.5	-3.5
身のまわり品	20,386,408	13.6	7.3
化粧品	15,272,331	10.2	4.9
美術・宝飾・貴金属	9,933,900	6.6	8.0
その他雑貨	6,162,563	4.1	10.7
雑 貨	31,368,794	20.9	7.0
家具	1,752,733	1.2	0.6
家電	563,262	0.4	-73.6
その他家庭用品	3,676,629	2.5	-0.2
家庭用品	5,992,624	4.0	-20.7
生鮮食品	6,149,889	4.1	-1.8
菓子	10,962,945	7.3	4.1
惣菜	8,071,549	5.4	-0.5
その他食料品	15,261,989	10.2	1.9
食 料 品	40,446,372	27.0	1.4
食堂 喫茶	2,770,062	1.8	-6.2
サービス	2,238,317	1.5	0.4
そ の 他	3,969,619	2.6	-8.9

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商品券	4,300,725 千円	-3.0
従業員数	17,884 人	-1.9
店舗面積	839,231 m ²	-0.7

営業日数	30.0 日	前年	30.0 日
------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が24か月連続、食料品が4か月連続、身のまわり品が2か月連続のプラスとなった。また、家庭用品が3か月連続、衣料品が2か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が44か月連続、その他雑貨が12か月連続、家具、その他食料品が4か月連続、菓子が3か月連続、美術・宝飾・貴金属、その他衣料品が2か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.2	—	4か月連続プラス
紳士服・洋品	-4.7	-0.4	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-3.3	-0.6	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-4.4	-0.1	2か月連続マイナス
その他衣料品	1.6	0.0	2か月連続プラス
衣料品	-3.5	-1.0	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	7.3	0.9	2か月連続プラス
化粧品	4.9	0.5	44か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	8.0	0.5	2か月連続プラス*
その他雑貨	10.7	0.4	12か月連続プラス*
雑貨	7.0	1.4	24か月連続プラス
家具	0.6	0.0	4か月連続プラス
家電	-73.6	-1.1	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-0.2	-0.0	5か月連続マイナス
家庭用品	-20.7	-1.0	3か月連続マイナス
生鮮食品	-1.8	-0.1	2か月連続マイナス*
菓子	4.1	0.3	3か月連続プラス*
惣菜	-0.5	-0.0	4か月ぶりマイナス*
その他食料品	1.9	0.2	4か月連続プラス*
食料品	1.4	0.4	4か月連続プラス
食堂喫茶	-6.2	-0.1	3か月連続マイナス
サービス	0.4	0.0	2か月連続プラス
その他	-8.9	-0.3	2か月連続マイナス
商品券	-3.0	-0.1	2か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>